

61期 学年通信

第3学年 第4号
7月4日発行

～合格までの最短距離を再確認しよう～

早いもので、いよいよ7月に突入。受験勉強も徐々にペースアップしてきている頃だと思います。3年生では朝学習の輪が広がってきました。ぜひその波に乗っていきましょう。効果が出てくるのは早くても3ヵ月先。あせらず集中して学習に取り組むことが大切です。今回は、3年生の学習習慣のポイントについてまとめました。もう一度、自分の学習スタイルを見直し、効率的に学習を進めていきましょう。

1. 時間は「つくるもの」である

部活動の引退、暇高祭の終了で、グッと気が引き締め、4月よりも学習に取り組める時間が増えた人も多いと思います。受験生の目標家庭学習時間は、平日4～6時間以上、休日10時間以上です。時間を有効に使って、学習時間を確保していこう。

<時間をつくるための3つのポイント>

①「生活の3点」を固定する

生活の3点とは、「起床」「夕食」「就寝」です。これらの時間を固定して、規則正しい生活をしよう。24時には絶対に就寝しよう。

②まとまった学習時間をつくる

問題演習には時間がかかるものです。まとまった時間を作り、じっくりと取り組んでみよう。そうすることで、入試問題にも対応できる力をつけることができます。

③休日に時間をつくり、有効利用する

授業がある日にできなかったことは、休日にカバーしよう。計画の遅れも休日の時間を有効利用することで取り戻すことができます。

2. 授業に集中しよう

学校の授業と受験勉強を別のものだと考えていませんか。暇高の授業は入試を意識して行われています。そのため、毎日の授業を活用しながら受験勉強を進めていくことが最も効率的だと言えます。「受験勉強」だからといって特別なことをするのではなく、まずは、「予習→授業→復習」のサイクルで学習を進めていくことが大切です。

授業中の取り組み (%)	国語		数学		英語	
	校内	全国	校内	全国	校内	全国
予習(復習)を必ずやっている	72.8	50.4	41.8	49.0	76.9	66.0
板書と先生の口頭の説明を書き取る	54.4	47.0	50.0	30.6	61.1	40.0

苦手分野 現代文：評論文など論理的文章の読解 22.2% (スタディサポートより)
数学：場合の数と確率(数A) 31.3% 英語：読解 37.0%

3. 定期考査で高得点を狙おう

大学入試に合格するために、何をどれだけ勉強すればよいのでしょうか。勉強しなげやという思いはあっても、膨大な範囲を目の前になかなか計画は立てにくいもの。そこで注目してほしいのが、定期考査です。定期考査は大学入試の「基礎」。暇高の定期考査で高得点が取れば、大学入試の問題にもすんなりと取り組めるようになるし、定期考査ごとにその範囲を完全にマスターしていけば、受験勉強もぐんと楽になります。まずは期末考査の範囲をしっかり勉強して高得点を狙いましょう。

4. 模擬試験を活用しよう

これから入試まで模擬試験を受験する機会が多くなります。これをうまく活用することで、受験勉強をより効率的に進めることができます。やっぱなしてはいけない!

時期ごとの模擬試験の意義

夏休み開始まで

【目的】 「やりたい学問ができるか」「合格可能性はどのくらいか」などを考えながら、志望校を絞り込むために受験する。
【準備】 それまでに習った範囲の復習をしておくことよい。

秋以降

【目的】 志望校合格に向けて、合格力をつけるまで受験する。
【準備】 それまでの模試の反省・復習を十分に行ったうえで、次の模試に向けて準備する。

模擬試験の4つの効果

- ①節目の効果…長期間にわたる受験勉強の集中力を維持する。
- ②自己診断の効果…自分の弱点や課題を見つける。
- ③全国区の効果…全国区レベルでの自分の実力の伸びを正確につかむ。
- ④試験慣れの効果…試験の場に慣れ、実力を出し切るテクニックを身につける。

今後の模試の予定

河合塾 8月17日 マーク模試、9月7日 記述模試、8月31日 京大即応オープン
駿台 7月27日 マーク模試、8月24日 京大実戦模試
代々木 7月27日 マーク模試、8月10日 記述模試、8月3日 京大プレ

